

みずほCustomer Desk Report 2024/02/16号(As of 2024/02/15)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】			公示仲値		150.49
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	150.55	1.0732	161.55	1.2565	0.6499
SYD-NY High	150.56	1.0784	161.63	1.2601	0.6535
SYD-NY Low	149.51	1.0725	160.94	1.2541	0.6478
NY 5:00 PM	149.91	1.0773	161.52	1.2602	0.6525
	終値	(前日比)	終値	(前日比)	
NY DOW	38,773.12	348.85	日本2年債	0.1300%	▲0.0100%
NASDAQ	15,906.17	47.03	日本10年債	0.7200%	▲0.0300%
S&P	5,029.73	29.11	米国2年債	4.5772%	▲0.0018%
日経平均	38,157.94	454.62	米国5年債	4.2174%	▲0.0248%
TOPIX	2,591.85	7.26	米国10年債	4.2329%	▲0.0274%
ソコ日経先物	38,585.00	470.00	独10年債	2.3525%	0.0055%
ロンドンFT	7,597.53	29.13	英10年債	4.0445%	0.0025%
DAX	17,046.69	101.21	豪10年債	4.1550%	▲0.1300%
ハンセン指数	15,944.63	65.25	USDJPY 1M Vol	7.58%	▲0.28%
上海総合	-	-	USDJPY 3M Vol	9.07%	▲0.08%
NY金	2,014.90	10.60	USDJPY 6M Vol	9.29%	▲0.06%
WTI	78.03	1.39	USDJPY 1M 25RR	▲0.75%	Yen Call Over
CRB指数	271.28	1.10	EURJPY 3M Vol	8.47%	▲0.10%
ドルインデックス	104.30	▲0.43	EURJPY 6M Vol	8.90%	▲0.15%

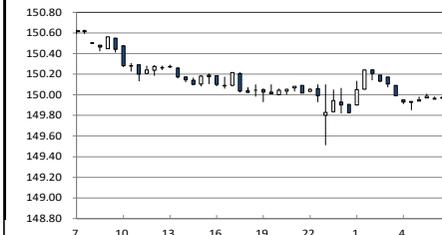
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
2月15日	08:50	日 GDP(年率/季調済/前期比)・速報	4Q -0.4%	1.1%
	08:50	日 GDP(季調済/前期比)・速報	4Q -0.1%	0.2%
	08:50	日 GDPデフレーター(前年比)・速報	4Q 3.8%	4.0%
	09:30	豪 雇用者数変化/失業率	1月 0.5k/4.1%	25.0k/4%
	16:00	英 GDP(前期比/前年比)・速報	4Q P -0.3%/ -0.2%	-0.1%/0.1%
	16:00	英 個人消費(前期比)・速報	4Q P -0.1%	0.1%
	22:30	米 NY連銀製造業景気指数	2月 -2.4	-12.5
	22:30	米 小売売上高速報(前月比)	1月 -0.8%	-0.2%
	22:30	米 小売売上高(除自動車/前月比)	1月 -0.6%	0.2%
	22:30	米 フィラデルフィア連銀景況	2月 5.2	-8.1
	22:30	米 新規失業保険申請件数	10-Feb 212k	220k
	23:15	米 鉱工業生産(前月比)	1月 -0.1%	0.2%

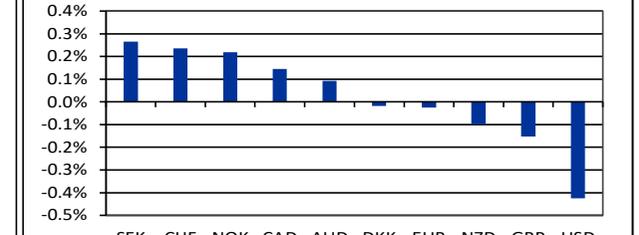
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
2月16日	22:00	米 バーキン・リッチモンド連銀総裁 講演	-	-
	22:30	米 住宅着工件数	1月 1460k	1460k
	22:30	米 建設許可件数	1月 1512k	1493k
	22:30	米 PPI(前月比/前年比)	1月 0.1%/0.6%	-0.2%/1%
	23:10	米 バーFRB副議長 講演	-	-
2月17日	00:00	米 ミシガン大学消費者マインド・速報	2月 80	79
	02:10	米 デーリー・サンフランシスコ連銀総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	148.80-151.50	1.0700-1.0850	160.90-162.20

【マーケットインプレッション】

昨日のドル円は150円を割り込む展開。早朝に発表された2023年10-12月期の本邦GDP速報値が市場予想を下回り、2四半期連続でマイナスとなると一時円売りが重なり、東京時間のドル円は150.55でオープン。その後は米長期金利が低下する動きが重なり、軟調な値動きが続き、ロンドン時間を通して下落基調となり、150円近辺まで値を下げる展開。NY時間では、発表された米1月小売売上高ヘッドライン(前月比)と失業保険継続受給者数が予想より悪化し、瞬時に149.51まで売られる。しかし、その後直ぐに149.90付近まで戻す。続いて発表された米1月鉱工業生産も予想より弱い結果となるものの、影響は限定的。その後、米金利が上昇する展開に買戻しの流れとなり、150.25まで戻すも、結局149.91でクローズした。本日のドル円は上値重い展開を予想する。昨日の米経済指標の結果、米個人消費の落ち込みが目立ち、ドル売りを誘った。本日も日中は株価や米金利の動向をにらみつつ、150円近辺で方向性を伺う展開となろう。海外時間においては多数の米要人発言や米1月PPI、米2月ミシガン大学消費者マインド指数などの重要指標の発表が予定されており、結果次第ではドル円もボラティルな展開となる可能性あり。また、週明け月曜日米国が3連休となるため、連休前のポジション調整の値動きにも留意したい。

東京	朝方発表された2023年10-12月期の本邦GDP速報値が市場予想を下回り、2四半期連続でマイナスとなると一時円売りが重なり、その後、東京時間のドル円は150.55レベルでオープン。米金利が下落する流れにドル円も上値重く推移し、引けにかけて150.08まで下押しした。結局、150.18レベルで欧州時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、150.18レベルでオープン。材料難で、米長期金利の下落につれて若干の弱含み。150.06レベルでNYに渡った。ポンドは、1.2566レベルでオープン。朝方発表の英第4四半期GDPが前期比マイナス0.3%となったことで英経済がリセッション入りとなったこともあり、ポンドは1.2542まで下落し1.2550レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は150円台半ばでスタート。弱い本邦2023年度第4四半期GDPの結果から、一時円売りが優勢となり、150.56まで戻す。しかし、その後は米長期金利が低下する動きが重なり、軟調な値動きが続き、150.06レベルでNYオープン。朝方に発表された米1月小売売上高が市場予想に反して悪化し、瞬時に149.51まで売られる。しかし、その後直ぐに149.90付近まで戻す。続いて発表された米1月鉱工業生産も予想より弱い結果となるものの、影響は限定的。その後、米金利が上昇する展開に買戻しの流れとなり、150.25まで戻す。午後は米金利における上昇一服を受け、149.90付近まで小幅反落。その後は徐々に動意乏しくなり、149.91レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.07台前半でスタート。1.0730付近を中心とした推移後、カール ECB総裁が「インフレ率が2%へ向かっている証拠はまだ不十分」、「ECBによる拙速な決定は望ましくない」と発言が伝わると、買いが優勢となり、1.0745レベルでNYオープン。午前中は弱い米経済指標の内容を受け、1.0784まで続伸するも、その後米金利の上昇に上値を抑えられ、1.0760付近まで反落。午後は終盤にかけて小幅戻し、1.0773レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 小林・松木